

# 女性、若手、外国人等の積極的採用①

➤ 若手教員については、本学が掲げるKPI(R3.5月時点で43名の採用)を達成。

若手教員については、平成31年3月13日付教員配置戦略会議にて策定された本学が掲げるKPIを達成するための若手教員の採用促進を行う方針のもと、教員配置戦略会議議長である学長の判断により助教等の若手教員を選考対象職種とした採用が決定。また、教育重点再配分計画に基づき各部門から人的資源の留保を行った上で実施される教員採用枠の再配分により若手教員を採用。

若手教員（40才未満）の採用促進について  
（平成31年3月13日教員配置戦略会議）

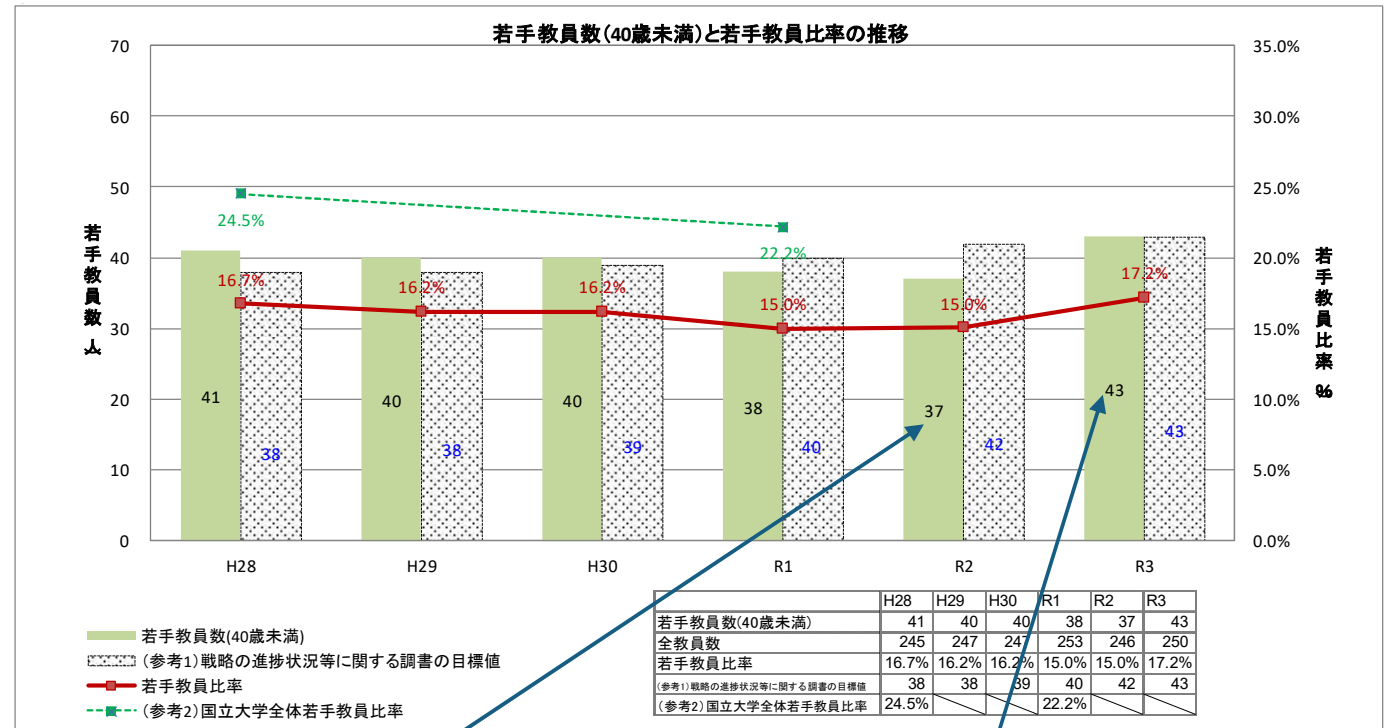
## ○経緯

統合イノベーション戦略（平成30年6月15日閣議決定）により2013年度水準から2020年度までに40歳未満の大学本務教員の数を1割増加を目標

本学においても、この目標に対応し、若手教員（40歳未満）の人数を2013年水準（38名）から2021年度までに8年間で11.5%増（5名増）させた43名とする目標を設定。

## ○達成のための採用促進方策

- 学長裁量財源による再配分を活用（令和2、3年度で計8名程度）
- 若手教員を採用しやすい本学独自のテニユアトラック制度を設計・導入
- クロスアポイントメント制度の活用



R2.3~7 7名採用  
（うち再配分3名）

R2.10~R3.4 14名採用  
（うち再配分4名）

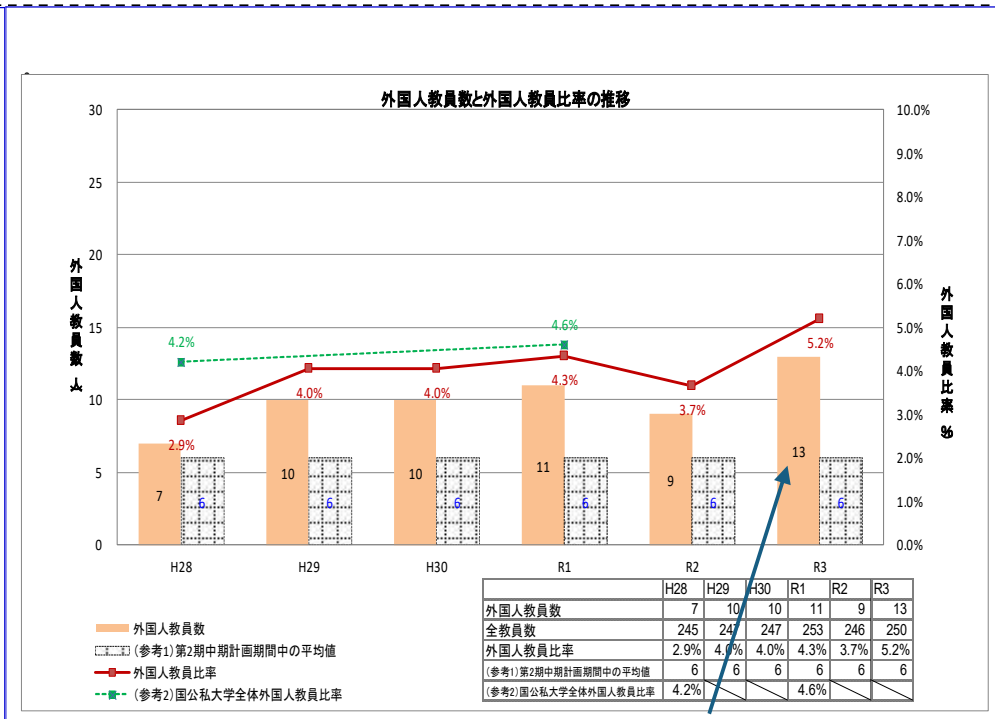
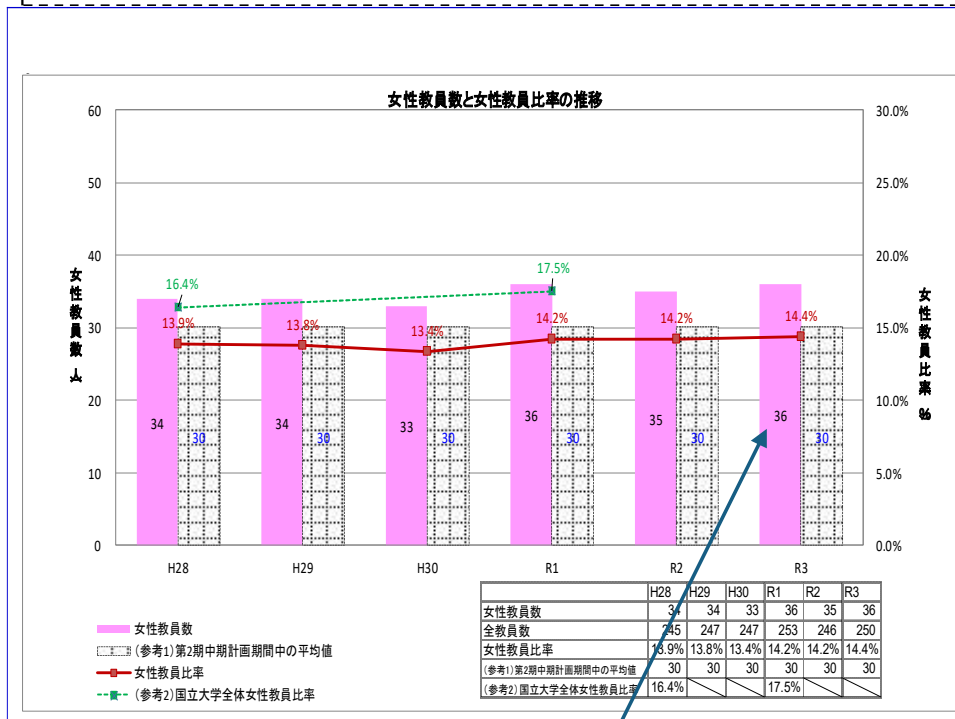
# 女性、若手、外国人等の積極的採用②

➤ 女性教員、外国人教員数については、第2期中期計画期間中の平均値以上の水準を確保。

女性教員については、研究活動支援事業として「研究サポーター(RS)制度」を実施しており、1名の女性教員に対して研究支援員の配置を行っている。また、教員公募において、女性からの積極的な公募を期待する旨を必ず記載することとしており、今後の教員公募においても同様に取扱いすることとしている。

外国人教員については、テニュアトラック制の採用は外国人の応募も想定して公募を進めている。クロス・アポイントメント制度を適用により外国人教員を招へいた。

なお、クロス・アポイントメント制度を適用して雇用している外国人教員について本学において教育・研究業務を行うにあたり、実務面でのサポートを行っている。



R3.4.1新規教員のうち  
女性割合 21.4%

クロスアポイントメントによる招聘 3名  
テニュアトラック制適用者 3名

一般事業主行動計画中の目標  
:教職員における女性の採用割合を全体で20%以上